

岩手県立盛岡工業高等学校

三つの方針（スクール・ポリシー）

1 学校教育目標

校 訓	しつ じつ ごう けん 質 実 剛 健
教育方針	真理と正義を愛し、自主的精神と知性に満ち、工業に関する基礎的な知識・技能・態度に習熟した将来有為な技術者の養成を期する。 この目標達成のため、次の綱領を定める。
	科学性と創造性の ^{とうや} 陶冶 陶冶：才能をきたえあげて育て上げること
	勤労精神と責任感の ^{こうよう} 高揚 高揚：精神を高めること
	敬愛と互助精神の ^{かんよう} 涵養 涵養：徐々に養い育てること

2 三つの方針（スクール・ポリシー）

- (1) 一人ひとりの生徒を大切にする教育の充実を図る。
- (2) 魅力ある学校づくりに努め、生徒に自信と誇りを持たせる教育の充実を図る。
- (3) 地域に信頼される開かれた学校づくりの推進を図る。

グラデュエーション・ポリシー（盛工として育成する力）

【学校】

盛工生が獲得を目指す力（3つのC）

「挑 戦」する力（Challenge）・・・ 高い理想を持ち、夢に向かって努力を続ける。

「創 造」する力（Create）・・・ 基礎基本の知識技術を習得し、新しいものを生み出す。

「変 化」する力（Change）・・・ 過去にこだわらず、とらわれず、自分を変える。

【機械科】

日進月歩の新技术に対して、主体的に学ぼうとする姿勢と温故知新の精神を持ち合わせ、変革し続ける時代に即して、工業的観点から社会へ持続的に貢献していくことができる能力を育成します。

【電子機械科】

工場の自動化に対応するため、機械、電気、電子及び情報に関する各分野の構成を踏まえて理解し、科学的根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決できる能力を育成します。

【電気科】

授業で得た知識、実習で培った技術や技能を生かし、エンジニアとして社会インフラを支える能力を育成します。

【電子情報科】

電気・電子・通信・情報分野について幅広い専門知識や技能を習得した、ハイテク社会を支える電気・情報技術者としての能力を育成します。

【土木科】

土木に関する知識・技術を主体的に学び、社会基盤を支える土木技術者として必要な資質・能力を育成します。

【工業化学科】

主体的・対話的で深い学びを通じて学力の定着を図り、工業化学の専門的な知識や技術を習得し、生活を支える化学工業の発展を担う技術者として必要な資質・能力を育成します。

【建築・デザイン科】

建築に関する総合的な知識と技術を兼ね備えた建築技術者を育成し、建築分野の第一線で活躍できる能力を育てます。

カリキュラム・ポリシー（盛工で何を学ぶか）

【学校】

- 1 工業高校のセンタースクールとして学科の特色を生かした教育課程を編成・実施する。
- 2 生徒の実態を把握し、対話を重視した「分かる授業」の展開に努める。
- 3 主体的に授業に臨む態度を育成し、授業規律を確立する。
- 4 体験的学習・言語活動の充実に努め、基礎・基本の定着と知識の活用能力の育成を図る。
- 5 観点別学習評価、指導と評価の一体化をすすめ、授業改善を図る。

【機械科】

ものづくりの基礎となる知識をまんべんなく学ぶことを目標として、教育課程の編成に配慮するとともに、地域の産学官の連携を密にし、工業に貢献できる基礎的技能を広く身に付ける。

【電子機械科】

ふれあいを大切にしながら、「主体的な学び」・「対話的な学び」・「深い学び」を通して、地域や産業界等と連携し実践的、体験的な学習を充実させ、自己実現を図れる能力を身に付ける。

【電気科】

授業や実習を通じて電気の基礎・基本を学び、その知識を生かした電気工事士や電気主任技術者などの資格取得を見据えた学習活動を展開する。

【電子情報科】

半導体や電子回路について学習する「電子技術（エレクトロニクス）」、コンピュータの仕組み（ハードウェア）やC言語によるプログラミング（ソフトウェア）について学習する「情報技術」、電話や電波の伝送について学習する「通信技術」の3分野について幅広く基礎から身に付ける。

【土木科】

地域社会と連携し、現場見学会・橋梁点検体験・ドローン講習会等を通して職業観を育成するとともに、在学中に測量士補・土木施工管理技士補等の国家資格の取得を目指す。

【工業化学科】

化学に関する科目を30単位以上修得し毒物劇物取扱責任者の資格を有するとともに、地域・企業と連携した実験や実習を通して探究すべき課題を発見し、深い学びを実現する。

【建築・デザイン科】

在学中に2級建築施工管理技士補（第一次検定試験合格）を目指し、卒業後の2級建築士の受験に対応できる力をつける。

アドミッション・ポリシー（盛工はどのような生徒を求めるか）

【学校】

1 職業観・勤労観の育成

- ・デュアルシステムやインターンシップなど体験的な学習を充実させ健全な勤労観を醸成する。
- ・計画的な進路指導により進路目標を早期に持たせ、目標実現に向けた具体的な取り組みを指導する。
- ・資格取得を推進し、スペシャリストの自覚と自信を持たせる。
- ・企業訪問を充実させ、職場開拓と事後指導に努める。

2 基本的生活習慣の確立

- ・挨拶の励行と規則の遵守により、さわやかな気風を上げる。
- ・スマートフォン等のSNS等によるトラブルを防止する。

・道徳教育の充実を図り、豊かな心を育むとともにいじめ防止に努める。

3 特別活動の活発化

- ・生徒会・委員会の自主的活動をすすめ、活性化を図る。
- ・集団活動を通して、望ましい人間関係の育成を図る。
- ・部活動の参加率を向上させ活発化を図る。
- ・創立120年を越える学校としての歴史と伝統の重みを感じながら、盛工生としての自信と誇りをもった生徒を育成する。

【機械科】

工業教育を通じて地域・日本を支える工業人を目指すとともに、基本的生活習慣・礼儀作法を学び、自らの在り方を考え、これからの人生を主体的・意欲的に取り組める夢を持つ技術者の卵を求めます。

【電子機械科】

機械、電気・電子、情報を広範囲に学びながら、資格取得を通じて自ら深化させることで大きな目標を持ち、その夢を達成しようと努力する生徒を求めます。

【電気科】

現在、電気のある生活は「あたりまえ」です。その「あたりまえ」を支える、意欲に満ちた若い電気技術者の卵を求めます。

【電子情報科】

電子回路や情報通信に関する学業などに積極的に取り組み、ものづくりや資格取得などに目的意識を持って取り組む意欲のある生徒を求めます。

【土木科】

土木分野への興味・関心と、主体的に学ぶ意欲を持ち、将来、道路や橋、ダムなど地図に残る仕事に就く夢を抱く生徒を求めます。

【工業化学科】

化学分野に興味・関心を持ち、自主的・協働的に課題解決に向けて努力することができ、化学業界のものづくり基盤を支える技術者や研究者になりたい夢を抱く生徒を求めます。

【建築・デザイン科】

「図形が好き、創造することが好き、絵を描くことが好き」を伸ばし、大きなビルを造りたい夢、家を設計したい夢、大工さんになりたい夢を抱く生徒を求めます。